

荒川流域のゆるキャラ

荒川沿川の自治体でも、ゆるキャラが数多く活躍して、埼玉県の魅力をもPRしています。



ゆる玉応援団

ゆるキャラとは「ゆるいキャラクター」の略です。埼玉県では「ゆる玉応援団」を立ち上げ、現在124のキャラクターが在籍し、埼玉県の魅力をもPRしています。

▶ ゆるキャラ紹介

①コバトン・さいたまっち（埼玉県）

コバトンは、県民の鳥のシラコバトがモチーフのキャラクターです。さいたまっちは、コバトンの後輩として生まれたキャラクターです。

②つなが竜又ウ（さいたま市）

つなが竜又ウは見沼田んぼの主の子孫で、「又ウ」とはフランス語で「飾り気のない」を意味する、その名のおりとてもフレンドリーなキャラクターです。

③ときも（川越市）

時の鐘とサツマイモから生まれたキャラクターです。

④ニャオざね（熊谷市）

名前は、ねこの鳴き声に熊谷ゆかりの武将「熊谷次郎直実」公をプラスしています。

⑤きゅぼらん（川口市）

川口を象徴する溶解炉「キューポラ」をモチーフにしています。

⑥うきしろちゃん（行田市）

水に浮いて見えることから「浮城」と呼ばれる行田の忍城をモチーフにしたキャラクターで、足には行田の産業を支えた足袋を履いています。

⑦まっくん&あゆみん（東松山市）

頭には市の花、牡丹の花と葉をかたどった羽をつけ、緑色の頭巾は市の木、松をイメージしています。体は名物「やきとり」につけるみそだれの壺。靴はスリッパの街にちなんだウォーキングシューズを履いています。

⑧ひなちゃん（鴻巣市）

鴻巣市の地名の由来とされる「こうのとりの伝説」のこうのとりのヒナをモチーフにしています。

⑨ふっかちゃん（深谷市）

名産「深谷ねぎ」のしなやかで豪快な角が特徴の、ウサギのようでシカのような架空の生命体です。

⑩アッピー（上尾市）

AGEOの頭文字Aをモチーフにしたキャラクターです。両手で大きなマルを描いて、ふれあいの輪が大きく広がるようお願いを込めています。

⑪とだみちゃん（戸田市）

戸田ヶ原自然再生キャラクターで、戸田の原っぱに暮らす妖精です。

⑫ぼぼたん（朝霞市）

たんぼぼの妖精です。自然豊かな黒目川のほとりに咲くたんぼぼから生まれました。

⑬志木あらちゃん（志木市）

北の海から荒川の秋ヶ瀬取水堰に突如現れたゴマフアザラシのあらちゃんをモチーフにしたキャラクターです。

⑭わこうっち（和光市）

市の木いちょうをモチーフにした妖精です。

⑮オケちゃん（桶川市）

江戸末期、桶川臙脂(えんじ)の名で有名だった「ベに花」を頭に、「中山道桶川宿」をイメージした着物をまとい、草履を履いています。

⑯とまちゃん（北本市）

大正～昭和初期、「石戸トマト」と呼ばれ、全国的に有名だった北本のトマトがモチーフです。

⑰ふわっぴー（富士見市）

富士山をイメージしたギザギザ頭が特徴で、市制施行40周年を記念して誕生した、4才の双子の兄妹です。

⑱さかっち（坂戸市（よさこい））

関東有数のよさこい祭り「坂戸よさこい」の素晴らしさを世の中に伝えています。坂戸市の頭文字「S」がモチーフです。

⑲かわべえ（川島町）

川島町特産の「いちじく」がモチーフで、川島町の豊かな自然を愛し、町のことならなんでも知っているグルメおじいさんです。

⑳よしみん（吉見町）

吉見町特産品のいちごの妖精です。頭は吉見の誇る歴史遺産「吉見百穴」をイメージし、お腹の2537（m）は日本一の荒川の川幅を表しています。

㉑はーとん（鳩山町）

町の鳥「鳩」と町の花「ツツジ」がモチーフのキャラクターで、町制30周年を記念して誕生しました。

コ ラ ム 板橋区のゆるキャラ ～りんりんちゃん～

荒川流域のゆるキャラは、東京都でも自治体の魅力をPRしています。
板橋区のゆるキャラ「りんりんちゃん」は、板橋区の花“ニリンソウ”の妖精をモチーフにした観光キャラクターです。



りんりんちゃん（板橋区）

参考 埼玉県公式観光サイト「ちょこたび埼玉」

出典 板橋区観光協会HP

荒川上流部改修100年の
詳しい情報はこちら→

